

令和3年度 第2回海老名市下水道運営審議会 次第

日時：令和3年11月2日（火）10時00分

場所：海老名市役所 3階 政策審議室

1 開 会

2 会長あいさつ

3 議 題

- ・海老名市下水道総合計画（改定版）骨子（案）について

4 その他

5 閉 会

海老名市下水道総合計画(改定版)の骨子(案)

第1章 計画の目的と位置づけ

本計画は海老名市の下水道事業の中期的な目標を示すことを目的とし、本章では、他分野の計画との関連性や位置付け、海老名市公共下水道総合地震対策計画などの下水道関連計画について示します。

第2章 下水道事業の概要

本章では、下水道の役割や近年の下水道を取り巻く状況、海老名市の雨水や汚水の整備率などについて示します。

第3章 下水道の課題

現計画の課題(未達成)		新たな課題	
災害	マンホール浮上防止対策	災害	激甚化する降雨 切迫する巨大地震
普及	下水道の普及率の向上	老朽化	下水道施設の老朽化
長寿命化	マンホール蓋交換	運営	人口減少 膨大なデータの管理

- ・浸水被害の増加
- ・管の破損による交通障害、公衆衛生の悪化
- ・下水道の使用停止
- ・維持管理費の増加
- ・使用料収入の減少による経営悪化
- ・効率的な維持管理の妨げ

発生する問題

計画のポイント

激甚化する自然災害への対応と持続可能な運営

第4章 基本理念と基本方針

基本理念

『未来へつなぐ下水道の持続と進化』と設定し、

基本理念を実現するための基本方針を設定しました。

- I 安全・安心なまちづくり
- II 次世代へつなぐ自然環境と施設の保全
- III 持続可能で効率的な下水道運営

第5章 個別施策と管理指標

基本方針を達成するための個別施策を設定し、具体的な取り組みについて示します。また、事業の進捗をはかるための管理指標を設定します。

- 1 水害対策
- 2 地震対策
- 3 施設の適切な改築・更新・維持管理
- 4 生活排水処理
- 5 水循環の推進
- 6 安定した下水道事業の運営
- 7 DXによる業務の効率化



市内の浸水状況



液状化によるマンホールの浮き上がり

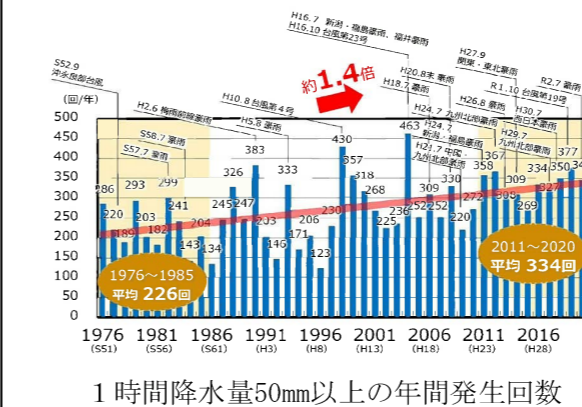
第6章 重点施策

個別施策のうち、重点的に進めるべき施策を3つ決めました。

水害対策

1時間降雨量50mm以上の降雨の平均年間発生回数は、約30年前と比べて約1.4倍に増加しています。

雨水整備には多くの事業費と時間がかかるため、早期に対策を行うには、現在行っている1時間あたり50mmの計画降雨に対する整備とともに、地区ごとに浸水リスクを考慮したメリハリのある対策を行うことが必要です。



地震対策

海老名市は大規模地震の震源域が複数存在する地域にあり、発生確率の高いものについては30年間で70%となっています。

復旧に時間がかかる下水道の耐震化は早急に進める必要があります。

施設の適切な改築・更新・維持管理

海老名市の汚水管は、今後、耐用年数である50年を迎える管渠が増え、破損等による影響が懸念されます。

計画的な点検・調査により管の状態を把握し早期に修繕・改築を行う「予防保全」を実施することで、施設の延命化を図りながら破損等の発生を未然に防ぎ、コストの平準化及び削減を図ることが必要です。

▼海老名市下水道総合計画

【基本方針Ⅰ】
安全・安心のまちを支える
下水道

施策方針

- 1 管路施設の地震対策
- 2 台風等の大雨に対する浸水対策

【基本方針Ⅱ】
豊かな自然環境を守る
下水道

施策方針

- 1 下水道未整備区域の生活排水対策
- 2 下水道資源の利用

【基本方針Ⅲ】
持続可能で効率的な
下水道

施策方針

- 1 下水道施設の老朽化対策の実施
- 2 効率的な下水道事業の経営

▼ 課題

激甚化する
降雨

切迫する巨大
地震

下水道
施設の
老朽化

人口
減少

膨大な
データの
管理

▼海老名市下水道総合計画
(改定版) 体系図

基本理念

『未来へつなぐ下水道の持続と進化』

災害時

【基本方針Ⅰ】
安全・安心なまちづくり

個別
施策

- 1 水害対策
- 2 地震対策

【概要】
平常はもとより、大規模災害時においても、
下水道施設の機能を維持し、市民の健康・生命・財産を守ります。

日常

【基本方針Ⅱ】
次世代へつなぐ
自然環境と施設の保全

個別
施策

- 3 施設の適切な改築・更新・維持管理
- 4 生活排水処理
- 5 水循環の推進

【概要】
ストックマネジメント計画等にもとづき適切な
維持管理を進めるとともに汚水処理の取り組みを
進めつつ、公共用水域の保全をはかります。

運営

【基本方針Ⅲ】
持続可能で効率的な
下水道運営

個別
施策

- 6 安定した下水道事業の運営
- 7 DXによる業務の効率化

【概要】
健全な経営状態を維持し、将来的な費用増加
に対応するため、効率的な下水道の運営を行います。

▼個別施策の具体的な取り組み

- 1
 - 1 雨水管理総合計画の策定・実施 (◎)
 - 2 想定最大規模降雨による浸水想定区域図の見直し (◎)
 - 3 雨水管きょ等の整備 (◎)
 - 4 雨水貯留施設等の整備
 - 5 下水道施設の清掃や補修等の維持管理
 - 6 樋門等の操作マニュアルにもとづく訓練
- 2
 - 1 管きょ等の耐震化 (◎)
(可とう性継手等の設置)
 - 2 下水道BCPにもとづく定期的な訓練 (◎)
 - 3 総合地震対策計画の定期的な見直し

重点
施策

重点
施策

雨水管理総合計画の策定
最終目標(R4) 【策定】
都市浸水対策達成率の向上
基準値(R3) 【43.2%】
中間目標(R8) 【44.2%】
最終目標(R13) 【45.2%】
可とう性継手の設置
基準値(R3) 【25箇所/年】
中間目標(R8) 【125箇所】
最終目標(R13) 【250箇所】
下水道BCPに基づく
定期的な訓練
基準値 【1回/年】
中間目標(R8) 【5回】
最終目標(R13) 【10回】

- 3
 - 1 スtockマネジメント計画にもとづいた施設の点検・調査 (◎)
 - 2 スtockマネジメント計画にもとづいた施設の修繕・改築 (◎)
 - 3 下水道施設の清掃や補修等の維持管理 (再掲)
 - 4 流域下水道接続点流量調査の実施
- 4
 - 1 下水道未普及地域の汚水管整備
 - 2 下水道施設の清掃や補修等の維持管理 (再掲)
 - 3 市民との協働推進
- 5
 - 1 雨水浸透施設による地下水の涵養
 - 2 事業場排水の水質調査の実施

重点
施策

ストックマネジメント計画に基づいた
施設の修繕・改築
基準値 【270m/年】
中間目標(R8) 【1,350m】
最終目標(R13) 【2,700m】
下水道(汚水)普及率の向上
基準値(R2) 【96.2%】
中間目標(R8) 【96.8%】
最終目標(R13) 【97.3%】
雨水浸透施設の設置促進
や適切な維持管理のPR
活動
基準値 【2回/年】
中間目標(R8) 【10回】
最終目標(R13) 【20回】

- 6
 - 1 健全な経営状況の維持
 - 2 計画的・段階的に雨水整備を進めるための総合計画の策定・実施
 - 3 スtockマネジメント計画にもとづいた施設の点検・調査 (再掲)
 - 4 スtockマネジメント計画にもとづいた施設の修繕・改築 (再掲)
- 7
 - 1 下水道台帳システムを活用したストックマネジメント計画等の反映
 - 2 管路施設の遠隔監視

経常収支比率
基準値 【100%以上】
中間目標(R8) 【100%以上】
最終目標(R13) 【100%以上】
下水道台帳システムへの
ストックマネジメント計画の反映
基準値 【10km/年】
中間目標(R8) 【50km】
最終目標(R13) 【100km】

※ ◎は重要度の高い取り組みとなります